小倉百人一首九十七番

ごんのちゅうなごんていか

読み

こぬひとをまつほのうらのゆふなぎに
やくやもしほのみもこがれつつ

意味

来ないあなたを待つ気持ちは
淡路島まつほの浦の海岸で塩を取るために焼かれる藻塩のように
恋いこがれているのですよ

来ぬ人をまつほの浦の夕なぎに
焼くやもしほの身もこがれつつ

権中納言定家

来ぬ人をまつほの浦の夕なぎに
焼くやもしほの身もこがれつつ
権中納言定家

本書類は個人の楽しみのためにあるべきものですので、転載、配布等は禁止いたします。　http://100nin1shu.seesaa.net/